

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 6 年度 第 1 回 富士見市こども家庭福祉審議会 議事録</p>						
<b>日時</b>	令和 6 年 4 月 2 2 日 (月)		開会	午後 2 時 0 0 分		
			閉会	午後 3 時 5 0 分		
<b>場所</b>	市役所本庁舎 1 階 全員協議会室					
<b>出席者</b>	委 員	矢島委員	宮委員	丸山委員	松本委員	石川泉委員
		○	欠	欠	○	○
		堀口委員	安達委員	志摩委員	木村委員	平岩委員
		○	○	○	欠	○
		石川京委員	中島委員	村上委員	高橋委員	村田委員
		○	欠	○	欠	欠
		外山委員				
	○					
事務局	子ども未来部長、子育て支援課長、保育課長、子ども未来応援センター所長、みずほ学園園長、子育て支援課副課長					
<b>公開・非公開</b>	公開 (傍聴者 0 名)					
<b>議題</b>	1 開 会    子育て支援課長 2 あいさつ    子ども未来部長 3 議 題 (1) 富士見市こども計画策定に関するアンケート調査について 4 事務連絡 5 閉 会					

## 議 事 内 容

1 開 会 子育て支援課長

2 あいさつ 子ども未来部長  
会長

3 議 題

<議事>

### (1) 富士見市こども計画策定に関するアンケート調査について

～事務局より説明～

【会 長】 ご意見等はございますか。

【委 員】 このアンケートは虐待についても含まれていて、親には見られたくないと思うので、本人が直接ポストに投函する形がよいのではと思います。

【委 員】 小5だと自分でポストに投函することが難しい子もいると思います。自分で出してもいいし、学校でも回収しますよっていう選択肢がある方がいいのかなと思いました。

【委 員】 自分で出すことはできると思いますが、塾があったり、特に小学生に関しては夜に出歩くことが難しかったりすることもあると思うので、時間的に自分でポストに投函するのは難しいのではないかと思います。

【委 員】 学校でお子さんがアンケートを書いて、その場で封をして提出することはできないですか。

【事務局】 ご意見いただきありがとうございます。授業の時間を削ることや先生方に負担をかけることはできないので、お子さんが直接ポストに出しに行くか、お子さんが封をした上で、親御さんに渡してもらって、保護者用調査票とともに投函してもらうことを想定していましたが、確かにいろいろな事情があるかと思いますので、どういうふうに対応できるか、再度検討いたします。

【会 長】 自分たちのことは、自分たちで意見を言わなければいけないということをお教えることも必要だと思います。確かに、先生方はとても忙しいとは思いますが、こういうことを児童・生徒のみんなも、考えなきゃいけないんだよってことを、先生方から話してもらうことも、すごく大事だと思います。教育委員会と相談していただいて、もし可能であれば、直接先生と子どもとのやりとりで、出していただくっていうのもいいのかなって思います。

【委 員】 保護者も働いていて忙しい方も多くいらっしゃると思いますし、本当に今タイパ（タイムパフォーマンス）という言葉があるとおりに、自分にとってメリットがあるかないかでアンケートの回収率も変わってくると思います。例えば所要時間何分くらいで、何のためにこれをやるのかというところを、はっきり、もっと明確に伝えた方がいいのではないかなと思いました。

【委 員】 小・中学生保護者用の調査票で「お子さんの父親・母親は、以下のような経験をしたことがありますか。」という設問の選択肢に、暴力を振るわれたことがあるというものがあるが、その中に精神的なものも含むとした方がよいかと思いました。

【委 員】 15～29歳用の調査票について、紙でわざわざ回答して出すって場合は、じゃあいいやってなる人が多いかなと思います。もし、スマートフォンで回答できるのであれば、移動時間にやってみようかなって、気に

なる人ももう少し増えるのかなと思いました。

**【委員】** 15歳～29歳の調査票について、同じ回答をしたとしても、15歳と29歳とでは、その意味合いが変わってしまうと思います。それを回収した時に、どういう評価をされるのかというのが気になりました。

もう一つ、小・中学生保護者用と15～29歳用で、居場所というものについて聞いていますが、居場所というのが、そもそも場所というもののだけで定義していいものかなっていうのを感じていて、学校は嫌いだけど、〇〇先生と話せる時間はすごく安心できるから、学校に行こうという発想になったりすると思うんです。場所の定義じゃなくて、人であったり、もう少し幅を広げて、設問を設けた方がよいと思いました。

**【事務局】** まずはスマートフォン等での調査についてですが、本アンケートは業務委託により実施いたします。仕様の変更を伴うこととなりますので、どこまで対応できるか検討したいと思います。なお、今後実施するアンケートについては、スマートフォン等を活用することを想定する必要があると思っています。

それと、回答の年齢別の取扱いについてですが、回収させていただいたアンケートの内容を、年齢も踏まえてクロス集計し、年代によるその考え方の分析というものをしたいと考えています。

あと、居場所についてですが、その他という項目も作って、今回、自由記載欄を設けていますので、そこで場所以外のニュアンスのものを書いていただけるのではないかと考えています。

**【委員】** 15～29歳用調査票の悩みごとの設問について、その悩みごとのレベルが難しいと思いました。本当に困っている人は、ここに書けると思いますが、そこまでではない場合、どのレベルのものまで回答してよいのか迷うかなと思いました。

もう一点は、15～29歳用調査票の結婚についての設問で「あなたが現在、未婚または独身でいる理由をお答えください」という設問の選択肢の7番で異性とうまく付き合えないというのがありますが、今は、パートナー制度を認めている市もある中で、ここに異性って書かれていることで、また、自分は枠から外れたなっていう人がいるかなと思いました。

**【事務局】** まず、悩みごとのところですが、どういうふうに書いたらいいのかと、悩むケースが有り得るというお話を頂戴しました。今回、表紙に質問がわかりにくい、答えにくいという場合や答えたくないと思った場合に、答えなくて差し支えありませんという文言を入れさせていただいたところです。ご指摘いただいたことを踏まえ、その他の説明などについても工夫をしていきたいと思っています。次に、結婚のところですが、ご指摘のとおりだと思いますので、対応をしていきたいと思っています。ありがとうございます。

**【委員】** 小・中学生保護者用の調査票で「あなたはお子さんに以下の事を与えていますか」という設問があります。これ見ると絵本やこども用の本とかって書いてありますが、生まれてから今までに与えているのかなって思って、そうすると与えていると私は思って、全部与えているに○をしちゃうんですけど、これはどれくらいの期間のものを聞かれているのかなと思いました。

**【事務局】** 質問の意図としては、最近のことを聞くことを想定しておりましたので、回答にぶれが生じないように設問を考えます。ありがとうございます。

**【委員】** 子育てをしていて、近所の人たちとの関り方が重要であると思っていま

す。近所の人との関係が良くなって遊べないとか、そもそも公園があるのに遊べないことがあると聞きます。近所付き合いがうまくいかなくてどんどん縮こまって、自分の中で悩んだりする方もいますので、そういうようなことも拾えるような設問があってもよいと思います。

【事務局】確かに委員のおっしゃる通りだと思います。そこで保護者用に、近所づきあいについて触れている設問を設定しました。地域での付き合いをどの程度していますかと、広い聞き方をしていますが、その後に心おきなく相談できる相手がありますか、どんな人ですかと掘り下げた設問を設定しました。

【委員】お子さん用の調査票にはないですか。お母さんだけが仲よくしているだけで、お子さん自身が認識しているのかなって。お子さんの方に聞いた方がよいかと思います。

【事務局】小中学生用の質問数が今 45 問ありまして、調査の負荷の点も精査した上で、検討させていただきたいと思います。

【会長】いろいろ考えていくと、設問数が増えてきてしまい、その辺が難しいところだと思います。

【委員】回答方法が、○を付ける方式がほとんどですが、読む字が増えてしまい負担があると思います。数値等を直接記入する方法はありますか。

【事務局】いただいた回答を基に、複数の回答を組み合わせて統計的に処理する関係で、○を付ける方式を主としているところです。我々も、なるべく負担感を少なくしたいと思っていますので、そういう視点でもう一度全体的に見直したいと思います。

【委員】2点質問します。ヤングケアラーについて、介護等以外に、例えば親がろう者であったり外国人であったりする場合の通訳をするという場合、それはケアに当たらないのかなと思いました。

あともう一点は、15～29歳用の結婚についての設問において、まだ結婚してない人に対しても、「結婚後の住まいを選ぶのはどういう基準になりますか」という設問ですが、なかなか想像が難しいなと思いました。

【事務局】ヤングケアラーについて、ご指摘のとおり家事とかお世話だけではなく、通訳というのもあると認識しておりまして、小5・中2用のアンケート調査の中で、通訳というのも選択肢として設定しています。なお、このヤングケアラーについては、初めて設問しますが、聞き方を工夫する必要があると思っています。実際にヤングケアラーになっているお子さんが、自分がヤングケアラーと思っているのか、これはお世話なのか、それとも家のお手伝いなのかといったところも、わかりづらいという意見は、事務局でも出ておりますので、配慮して設問は作っていきたいと思っています。

次に、「結婚後の住まいを選ぶのはどういう基準になりますか」という設問についてですが、今イメージがわからないというのはその通りかなと思いますので、検討したいと思います。

【委員】スマートフォンについてですが、「スマートフォン等を利用して嫌な思いをしたり、トラブルに巻き込まれたことはありますか」という設問がありますが、例えばこれでスマートフォンをずっと利用してて、生活習慣が乱れてしまったとか、そういう感じのものが拾える設問ってうのは、ありますか。

【事務局】スマートフォン利用の弊害の一つとしてそのようなこともあるのかと思います。ご意見を頂戴しましたので検討したいと思います。

- 【委員】小・中学生保護者用の調査票で「あなたはお子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいですか」との設問については、自分なら子どもに任せるといふ答えをするので、そのような選択肢があってもいいのかなと思いました。
- 【事務局】お子さまの考えを尊重するということですね。設問の方は検討したいと思います。
- 【委員】ヤングケアラーについて、お世話をする事で学校に行けない日がありますかという質問はどうかと思いました。
- 【事務局】ご意見頂戴しましたので検討させていただきます。
- 【委員】小5・中2用の調査票の生活の満足度に関する設問で、10段階で○にするってというのが、ちょっと回答しづらいのではないかなと思いました。あともう一点、小5の子がヤングケアラーってなんだろうって、ひっかかってしまうこともあるかなと思ひ、わざわざ表題にしなくてもいいのかなと思ひました。
- 【事務局】ヤングケアラーについて、ご家族のお世話、お手伝いをする事でご自身の時間が無くなってしまふ、学校にいけないことがあるとか、やりたひことができなひ状況に陥っているっていうことなんだよっていうことを、子どもたちに正しく理解してもらえようにな工夫してみたいと思ひます。あと、満足度の話についても検討させていただきますたいと思ひます。
- 【委員】真ん中が普通とか、言葉を加えてあげた方が分かりやすいと思ひます。
- 【事務局】ご意見を踏まえて工夫してみたいと思ひます。
- 【会長】小5・中2となっていますが、小5の子どもたちが理解する設問の仕方とか表現にしなひと、答えにくいと思ひますので、検討していただき、小5の方にできるだけベースを合わせた設問内容とか質問の仕方にしていただきたいと思ひました。
- 【事務局】小学5年生が、最後まで回答できるような工夫をしてみたいと思ひます。
- 【委員】わかり易さというところで、こどもの意見表明について、行政に言いたひことがありますかとの設問がありますが、そもそも行政は何をやっているのかわからなひと何を言っているのかわからなひと思うので、その説明があってもいいのかなと思ひました。
- 【事務局】小学5年生には行政という言葉がわかりづらひと思ひます。検討してみたいと思ひます。
- 【委員】今の意見表明についてのことですが、国はあなたの意見を聞きたいと思ひていますみたいな、どうしてこの設問があるのかという背景が分かるというのかなと思ひました。
- 【事務局】国の取組等を参考に検討したいと思ひます。
- 【事務局】本日この場にはご欠席となってしまった副会長から、事前にご意見をいただき、その内容について皆様のご意見を頂戴したいと思ひます。今回のアンケートがプライベートにも踏み込んだものになっ、ていて、例えば小・中学生保護者用調査票においては、保護者の最終学歴や両親が離婚したとか、暴力を振るわれたなどの過去の経験について、また、年収や税金・社会保険料に関する設問などもあります。前回の貧困計画の調査と同様の内容ではありますが、それから数年経過しているので、今こういうことについて調査することを心配されていまひました。事務局といたしまひては、これらの設問についてプライベートなところに踏み込んでいひることを十分認識はしていまひますが、この設問により貧困の実態について把握し、その後の施策につなげていひくことを想定して

りまして、そのために必要なものと考えております。

【会 長】こういった事業計画を立てる上で、必要というふうに判断をして、事務局が設問を作っているわけですけど、皆さんから見て自分がこういう設問を受けた時に、ちょっと嫌だなとか、そういう感覚になるのかどうか、そういうところも含めて皆さんのご意見をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委 員】確かに踏み込んではいませんが、仕方ないかなと思います。実態として把握しなくちゃいけないことだとは思っているので、私は別に違和感はありません。

【事務局】そういうことを踏まえて、今回表紙に答えたくない場合は、回答しなくても差し支えありませんと注意書きを入れる対応をさせていただいています。

【委 員】小・中学生保護者用調査票において、お子さんの父親、お子さんの母親と枠が分かれていると思いますが、どのように回答することを想定しているのか教えてください。

【事務局】父親、母親にそれぞれに書いてもらう場合と、分かる場合は相手のことを回答してもらう場合もあると考えています。

【会 長】最初に戻りますが、子どもが回答するにあたって、回収率を上げるっていうことも含めて、学校にお願いしてみてもという意見もございました。学校側からすれば、負担が増えることになるので難しい部分もあるかと思いますが、教育委員会と調整をしていただけたらと思います。

【会 長】長時間にわたって、多くのご意見をいただきました。本当に大事な問題なので、こういうふうに意見を出していただいたこと、ありがたく思います。

#### 4 事務連絡

次回の会議日程：6月下旬～7月上旬あたりで開催予定

#### 5 閉 会 会長